

■コメント

1. インフルエンザ

定点当たり47.4人と前週よりやや減少しましたが、依然警報レベル(定点当たり30.0人)を超えており、市内で流行が継続しています。

なお、インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等は、第8週は58件の報告があり、多い状況が続いています。

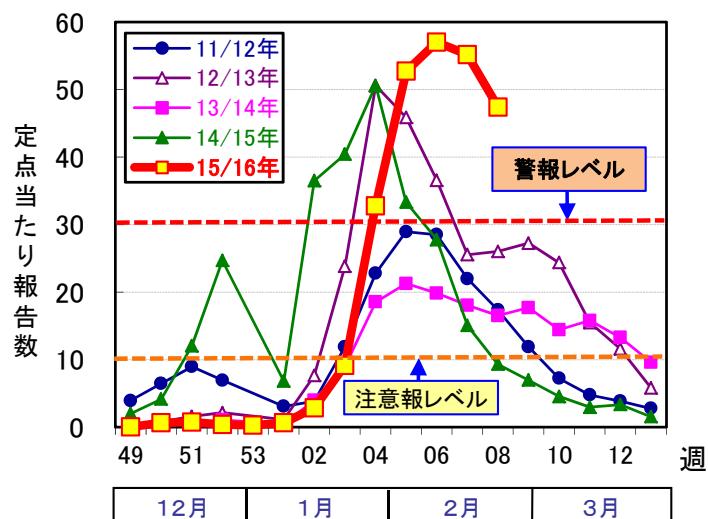
今後も引き続き、手洗い・うがい、咳エチケットなどの対策を心がけましょう。特に集団生活施設では、感染予防対策を徹底することが重要です。

2. 感染性胃腸炎

小児科定点からの感染性胃腸炎の報告数は定点当たり8.38人と、前週とほぼ同程度で推移しています。

なお、基幹定点からのロタウイルスによる感染性胃腸炎は15人の報告があり、増加傾向にあります。(次頁参照)

インフルエンザの流行状況



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平過去5年間	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平過去5年間	発生記号
小児科	インフルエンザ	1755	47.43	18.81	△	小児科	流行性耳下腺炎	17	0.71	0.42	△
	咽頭結膜熱	3	0.13	0.15			RSウイルス感染症	3	0.13	0.27	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	84	3.50	1.99	▲	眼科	急性出血性結膜炎	-	-	-	
	感染性胃腸炎	201	8.38	10.47	□		流行性角結膜炎	3	0.38	0.20	
	水痘	6	0.25	0.99		基幹	細菌性髄膜炎	-	-	0.03	
	手足口病	-	-	0.22			無菌性髄膜炎	-	-	0.06	
	伝染性紅斑	33	1.38	0.16	→		マイコプラズマ肺炎	1	0.14	0.17	
	突発性発しん	5	0.21	0.34			クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	
	百日咳	1	0.04	0.10			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	15	2.14	/↑	↑
	ヘルパンギーナ	5	0.21	-							

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1:1.5～2の増減
微増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1:1.1～1.5の増減
横ばい	↔		ほとんど増減なし

報告数が少數の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注)過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	4	30	女性(70歳代)・1人、男性(80歳代)・1人、女性(80歳代)・2人
5	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	2	4	女性(60歳代)・1人、女性(70歳代)・1人

■定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

		インフルエンザ	咽頭結膜熱	A群溶血性球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	RSV	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性結膜炎	無菌性結膜炎	マイコプラズマ	クラミジア肺炎	(口タウイルス)	
報告数	広島市	第4週	1,180	8	79	193	14	3	42	7	2	2	17	8	-	5	-	-	6	-	8
		第5週	1,951	4	61	141	12	-	30	9	2	-	10	8	-	3	-	-	4	-	7
		第6週	2,109	9	51	155	12	1	32	6	-	-	9	2	-	7	-	-	3	-	11
		第7週	2,041	10	51	191	10	-	31	14	-	-	13	4	-	3	-	-	2	-	7
		第8週	1,755	3	84	201	6	-	33	5	1	5	17	3	-	3	-	-	1	-	15
定点当たり	広島市	第4週	32.78	0.35	3.43	8.39	0.61	0.13	1.83	0.30	0.09	0.09	0.74	0.35	-	0.63	-	-	0.86	-	1.14
		第5週	52.73	0.17	2.54	5.88	0.50	-	1.25	0.38	0.08	-	0.42	0.33	-	0.38	-	-	0.57	-	1.00
		第6週	57.00	0.38	2.13	6.46	0.50	0.04	1.33	0.25	-	-	0.38	0.08	-	0.88	-	-	0.43	-	1.57
		第7週	55.16	0.42	2.13	7.96	0.42	-	1.29	0.58	-	-	0.54	0.17	-	0.38	-	-	0.29	-	1.00
		第8週	47.43	0.13	3.50	8.38	0.25	-	1.38	0.21	0.04	0.21	0.71	0.13	-	0.38	-	-	0.14	-	2.14
全国		第6週	39.97	0.37	3.31	6.72	0.37	0.03	0.52	0.35	0.01	0.01	0.73	0.41	0.01	0.61	0.01	0.03	0.48	0.03	0.46
		第7週	37.16	0.36	3.27	6.66	0.40	0.02	0.44	0.37	0.01	0.01	0.85	0.37	0.01	0.60	0.02	0.02	0.52	0.01	0.43

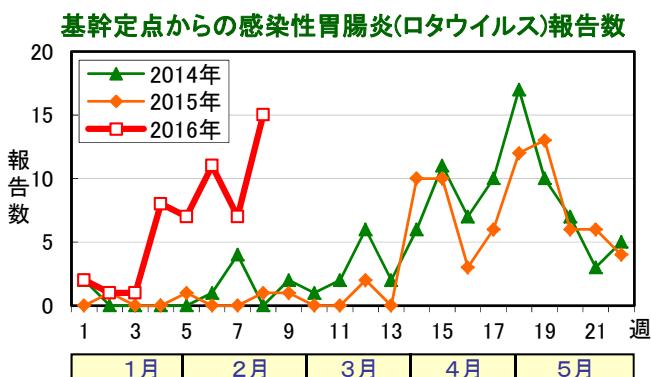
■新たに判明した病原体検出状況

(検査:広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
インフルエンザ	発熱(39.0) 肺炎	6	男	2016/02/15	咽頭拭い液	B型インフルエンザウイルス
インフルエンザ	インフルエンザ様症状	41	男	2016/02/15	鼻汁	B型インフルエンザウイルス
インフルエンザ	インフルエンザ様症状	10	女	2016/02/16	鼻汁	インフルエンザウイルスA(H3)型
インフルエンザ	インフルエンザ様症状	2	女	2016/02/16	鼻汁	B型インフルエンザウイルス
インフルエンザ	インフルエンザ様症状	27	男	2016/02/17	鼻汁	インフルエンザウイルスA(H1N1)2009型
インフルエンザ	発熱(40.0) 熱性痙攣	3	男	2016/02/17	咽頭拭い液	B型インフルエンザウイルス
インフルエンザ	インフルエンザ様症状	28	女	2016/02/18	鼻汁	インフルエンザウイルスA(H1N1)2009型
インフルエンザ	インフルエンザ様症状	41	男	2016/02/18	鼻汁	B型インフルエンザウイルス
インフルエンザ	インフルエンザ様症状	44	女	2016/02/18	鼻汁	インフルエンザウイルスA(H1N1)2009型
インフルエンザ	インフルエンザ様症状	37	男	2016/02/18	鼻汁	インフルエンザウイルスA(H1N1)2009型
インフルエンザ	インフルエンザ様症状	31	男	2016/02/18	鼻汁	B型インフルエンザウイルス
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	発熱(38.0) 丘疹	4	男	2016/01/20	咽頭拭い液	ヒトヘルペスウイルス7型
川崎病	発熱(39.0) リンパ節腫脹	3	男	2016/01/19	咽頭拭い液	ヒトヘルペスウイルス6型
その他の呼吸器疾患	発熱(39.0) 肺炎	4	女	2016/01/17	鼻汁	ライノウイルス
その他の呼吸器疾患	発熱(39.9) 下気道炎	4	男	2016/02/10	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスA(H1N1)2009型
その他の疾患	発熱(40.0)	4	男	2015/12/26	咽頭拭い液	アデノウイルス3型

* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載

【参考】広島市における基幹定点からの感染性胃腸炎(ロタウイルス)報告数



感染性胃腸炎の原因ウイルスとしては、例年、全国的に12月から2月頃はノロウイルス、3月から5月頃はロタウイルスが多くなる傾向があります。ロタウイルスによる感染性胃腸炎は、ノロウイルスに比べると患者の年齢層がやや低く(6か月から2歳くらいの乳幼児に多い。)、症状が少し重い傾向にあるといわれています。

市内の基幹定点7か所からの感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)の報告数は、今年は例年より早く1月中旬から増加しており、注意が必要です。

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じことがあります。
なお、感染症情報の詳細についてはホームページでご覧いただけます。

URL <http://www.city.hiroshima.lg.jp/eiken/center.html>

【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
TEL (082) 277-6575 FAX (082) 277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.lg.jp